心豊かな暮らし



VOL. **49**WINTER 2018







心豊かな暮らし

# 移

# VOL. 49 WINTER 2018

contents

P3≫

**壮大な庭園を愛で癒される暮らし** M様邸 - 愛知県名古屋市

P7≫

ベトナムの技術力 刺繍絵 Tranh thêu (チャン テェウ)

P 9

矢橋の家 インスタグラム @yabashinoie

P 10 ≫

名古屋ショールーム「三豊居」

長者町ゑびす祭り

武者小路千家 御茶のお稽古のご案内

P11 ≫

矢橋の注文住宅

欧・悠楽・和・懐・招 シリーズ紹介

P 13 ≫

矢橋の街づくり 「RESIDENCE HIGASHIMAE」(岐阜県大垣市東前 自社分譲地)

レジデンス東前 一般分譲開始!

P 14 ≫

矢橋のリノベーション

連載

中山道赤坂つれづれの記 文/故 清水春一 平将門伝説と矢橋賢吉工学博士(二) 表紙写真: 椿 時代根来風鞘掛け花生け P.1-2写真: M様邸庭園

1



# 壮大な庭園を愛で 癒される暮らし

M様邸

愛知県名古屋市







名古屋市の閑静な住宅街に、悠然と佇むM様邸。庭に面して並ぶ和室の緑が目に留まる。それぞれの和室から視界に広がるのは、壮大な庭園だ。

ハナミズキや椿、ツツジなど四季の移ろいに合わせて美しく姿を変える落葉樹や、彩りを添える 常緑のタマリュウと芝生。庭に味わいと深みをもたらす苔むした縁石など、見どころが多い。雨に濡れ た敷石がしっとりとした雰囲気を醸し出す。

四季折々の自然を愉しまれるM様は、有機野菜を取り寄せて作るなど、食事にもこだわりが。平屋建ての住まいには和室が3室、キッチン、ゆったりとした廊下があり、コンパクトな動線で暮らすことができる。漆喰壁と無垢フローリングの質感も良く、住み心地も良い。

日本書紀がお好きだというM様。歴史の講座や、美術館、博物館などに出かけ、熱心に歴史を学んでおり、最近はヨーロッパ史の本も読んでいるそうだ。和室から庭を眺め、好きな本を読むことが、M様の日常であり、至福のひと時だという。

1/樹木や草花、砂利や敷石をバランスよく配置した 壮大な庭園。 2/通りに面した玄関前には、ゆったり としたスロープが。 3/雨に濡れた敷石と緑の芝生が 美しい。 4/広々とした玄関。玄関の先には和室が並 列し、どの部屋からも庭が眺めらる。

4



# お気に入りの場所から 四季の移ろいを感じ 庭を愉しむ。

M様が普段いらっしゃるのは、掘りごたつがある 和室。いつも庭が眺められるのが嬉しいと話される。

冬からお住まいになられたM様は、「雪が降った時には、雪見障子から庭を眺め、美しかった」とのこと。 木々の成長や、季節によって咲く花などを愉しみにされている様子が伝わってきた。

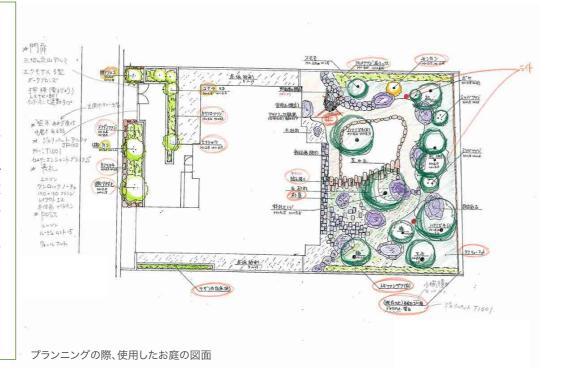


5/落ち着いた色合いのM様邸。間接照明の明かりが柔らかく照らす玄関。 6/床の間がある和室。この部屋からも庭が眺められる。 7/雪見障子と掘りごたつがある和室。 畳以外の場所は全て矢橋オリジナル無垢フローリングを使用している。 8/格子でさりげなく仕切る廊下。 9/早川正夫建築設計事務所による設計。重厚感のある外観。通りに面しており、成長する樹木が目隠しの役割も果たす。 10/和室から眺める庭。

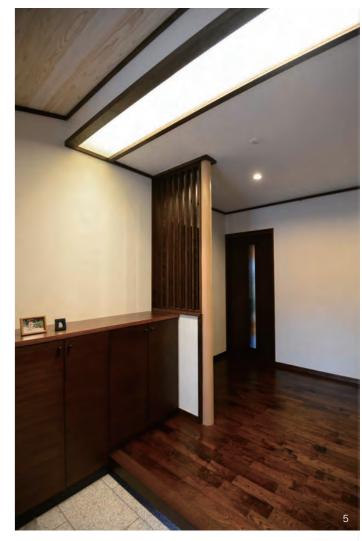


営業担当 住宅部 次長 名古屋SR店長 豊田悦子

昨年の師走、M様邸に年末のご挨拶に 何った日は、雪の降る、寒い日でした。 新築したばかりの暖かいリビングで 着工中の思い出話などお話しさせて頂 きふと、雪見障子からお庭を拝見した 際の景色は本当に美しいの一言でした。 それから、春・夏・秋と同じ場所から 季節の移り変わりも拝見させて頂き 改めて、日本の四季の素晴らしさと 植物の生命力に感動をした一年でした。 貴重な機会を頂き、本当にありがとう ございます。

















# 



クロスステッチ刺繍は、伝統的な技法に比べ、簡単で 手軽に作品が作れるため、ベトナムでとても人気が あり、各地で仕事や家事の合間にクロスステッチ刺 繍をしている方々をよく見かけます。

弊社グループ会社のVINACADにも刺繍が好きな 社員がおり、作品を社員食堂に飾るなどして楽しん でいます。

右の「梨の花」は、数ヶ月かけて完成させた大作です。 大きな作品は、製作に時間はかかりますが、完成した 時の満足感が、また次の作品へとつながるそうです。





管理部 Cookチーム Hồng Anh

# Tranh thêu

手工芸の刺繍は、ベトナム全土に広まっていますが、特にハノイ市トゥオン ティン県クアット ドン村は、 洗練された技術を持つ職人が多く集まる場所として有名です。

今回ご紹介するグェン スアン ドゥック氏も、ここで刺繍絵の製作を続けています。この村の職人は、 昔は、ウコン、ヘナ、藍の葉などで染めた糸を使っていましたが、20世紀初頃になると、フランスや中 国から色鮮やかな糸をはじめ、高度な技術が伝わり、さらに魅力的な作品が出来る様になりました。





刺繍絵は、必要な材料を準備して絵を描き、枠に入れて刺繍をします。 シングル、ダブル、4本の糸で刺繍をし、工程によって糸を使い分けます。 この仕事は細やかさと忍耐力が必要となり、大きな絵は完成までに5~6ヶ月かかるものもあるそうです。



グェン スアン ドゥック Nguyễn Xuân Dục

巧妙な技術で、絵画の様な刺繍をし 数々の賞を受賞している







矢橋林業 名古屋ショールーム

# 三些东

- 注文住宅の設計・施工
- 戸建・マンション・店舗などのリノベーション
- オリジナル建材の加工・販売
- 漆器・家具などの創作・販売



# 大盛況の長者町ゑびす祭り

矢橋グループも出店し、自社製のベンチやプランター、新米やいちじくジャムなどを販売いたしました。



長者町ゑびす祭りとは・・・毎年10月に行われる長者町通りを中心としたお祭り。

2018年10月13日·14日開催

# 武者小路千家 御茶のお稽古のご案内

現在、名古屋ショールームにて月に1回、御茶のお稽古を行なっております。

場所:名古屋ショールーム「三豊居」 時間:夕刻より夜にかけての時間帯 (16:00~19:00の間にお越しください) 月謝:月1回 4,000円

※お稽古日は、先生のご都合により異なります

ご興味のある方は、下記までお問い合わせください 矢橋林業株式会社

名古屋ショールーム 「三豊居」店長 豊田 悦子 中区錦2丁目5番31号 長者町相互ビル1F TEL. 052-870-9290

E-mail. toyoda@mail.yabashi.co.jp



武者小路干家 家元准教授 小林 徹信 (雅信)

# 1 Instagram





矢橋の家のインスタにぜひ、お立ち寄りください。

# @yabashinoie

#### 矢橋の家

「人が住むべき緑豊かな心休まる良い環境に、自然素材を活かした日本の伝統を受け継ぐ家に住まう。日本の原風景を取り戻し、心豊かな暮らしができる住環境をつくる」を理念とし、岐阜、名古屋を中心に家づくりをしています。

www.yabashi.co.jp/house







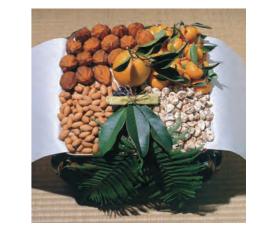




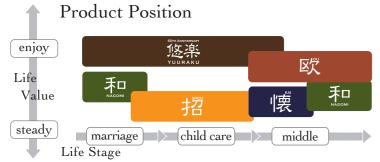








yabashinoie - Product line-up - 矢橋の注文住宅



### 矢橋の家の理念

人が住むべき緑豊かな心休まる良い環境に 自然素材を活かした日本の伝統を受け継ぐ家に住まう。 日本の原風景を取り戻し、心豊かな暮らしができる住環境をつくる。

#### 矢橋の家のこだわり





















リフォームをしようか、建て替えようか、お悩みではないでしょうか? 矢橋林業は、住まいを快適にするリフォーム・リノベーションも行なっています。お気軽にご相談ください。

## 矢橋のリノベーション

使い心地を良くするキッチンや浴室などの 新たな付加価値を付け家を甦らせる 小さなリフォーム から フルリノベーションまで

Renovation

「心豊かな暮らし」の風景

今年も残り少なくなって参りました。気付くと既に秋が深まり、紅葉も過ぎようとしています。あの暑かった夏は何処へ行ってしまったのかと、 つい最近のことのように思うのです。この様に毎年、沈丁花の花の香りで春が近いことを感じ、金木犀の良い香りで夏が終わったと思っている間に、 日暮れが早くなり、散り始めた紅葉の葉で冬が近いことに気づきます。毎日慌ただしく過ごしていますが、植物から四季の訪れを知り、日本の季節 の変化を、ほんの少し楽しんでいます。

庭の木々を眺めて、四季の移ろいを楽しむ事が出来る風景をつくることは、住宅の必須の条件であると考えて来ました。お施主様からご発注頂い た際、住宅の設計と共にお庭の設計も同時に始めます。大小に関わらず最初の一歩となる基本的な庭は必要であると考えております。そこからお施 主様の世界が広がり、お施主様の個性ある庭に発展する事もあれば、最初の庭が年月を経て木が大きくなり時間を感じる庭になる場合もあります。 慌ただしい日常の中で一瞬でも庭に目をやり、ふと深呼吸の出来る風景が、「心豊かな暮らし」には必要で、大切だと思います。

弊社グループが展開しているベトナムのハノイの街並みも、この20年間で大きな変化を遂げました。悪く言えば何処の国でもある都会になってし まったとも言えます。しかし、ハノイの中には、少しだけ大きな街路樹がある、間口の狭い家が並ぶ通りが残っています。ハノイ人の故郷の風景です。 そして、その風景を忘れないように刺繍にして残している職人がいます。これは、ハノイの心の風景であり、変わっていく街の中で失ってはいけない ものだと思います。

新しい分譲地は、土地を売るのではなく、風景をデザインし、景色をご購入して頂くことだと考えています。分譲地の街づくりは自分の故郷の風景 として心に残るものであらねばならないと思います。季節を感じる庭が集まって街になり、昔のハノイの街路のように心に残る場所で有りたいと 思っています。

矢橋林業株式会社 代表取締役社長 矢橋龍宜

## RESIDENCE HIGASHIMAE



### レジデンス東前 般分讓開始

# 麗しき住環境の創造 ~Residence series~

周辺環境も充実した緑あふれる住環境で 新しい暮らしをはじめませんか?



### 矢橋の街に注文住宅を 注文住宅用建築条件付土地分譲

#### 四季の移ろいを感じる街並み

一邸一邸の庭が、季節ごとに楽しめる植栽、食べら れる実のなる木などでつくられており、庭がつながり、 四季の移ろいを感じる心地よい街並みとなる

#### お隣と共有する木々

プライバシーを確保しながらも、 できるだけオープンな庭をつくる ことによりお互いに緑を共有できる

#### カーブした道

道がカーブしているため、 スピードが出しにくく抜け道 にもなりにくいため安全

#### つながるコミュニケーション

視界が広がり、ご近所同士コ ミュニケーションが取り易い動 線を確保。つながりが感じられ、 円を描くようなコミュニティー がうまれる





2018年11月現在 ※ 区画図に表記した建物・車等はイメージです

安井幼稚園まで徒歩 5分

安井小学校まで徒歩 9分



#### 建築条件付き

土地ご購入の場合、1年以内に「矢橋の家」を建築して頂く事が条件 となります。尚、建物において消費税率8%の適用を受ける為には、 2019年3月末日までの建築請負契約が必要となります。

# 新春フェア開催!

 $^{1}/_{5}$  6  $^{\circ}$   $^{\circ}$   $^{1}/_{12}$  13  $^{\circ}$  14  $^{\circ}$  10:00 $\sim$ 17:00



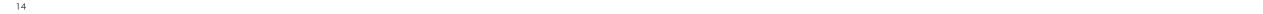




www.yabashi.co.jp/house/







うみゆり連載集

伝説もその一つでした が、前回紹介しました矢橋賢吉博士の死亡 方が最も多く次に大垣市荒尾町の御首神社 自ら「平親王」と名乗った平将門にまつわる など西美濃地方に縁りの地が多いようです 伝説は、全国的に広く分布しており、関東地 関東地方を開拓し、朝廷に反旗を飜して

司令官のマッカーサー元帥はビックリして と言われ、これも将門の崇りとされ、占領軍 転したところには首塚の石碑が埋まっていた いう事故が起き、しかも、ブルドーザーの横 いた日本人が死亡し他の数名が負傷すると 整地工事中、ブルドーザーが転倒し運転して の首塚のある辺りを駐車場にしようとして 京で、大蔵省(現在は財務省)や平将門伝説 てきた占領軍が、戦災で焼け野原となった東 亜戦争)で敗れて終戦を迎えた日本に進駐し 「日本の古い大酋長の墓だから壊してはいけ そして、昭和二十年第二次世界大戦(大東

緘 VOL.49 WINTER

2018年 12月1日発行/ 矢橋林業株式会社 住宅部

〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町表佐410-1 矢橋テクニカルセンター TEL 0584-22-0001 FAX 0584-22-5666

写真に見られるように

なお、ここに復元された「将門塚の碑には

首塚を復活させたというのです。 ない」と言って工事の中止を命令し 、将門の

うにお花やお水が供えられています。 動の二つの顔をもった観光コースは、また り、また「日本の道百選」の一つになった東京 られ、将門の首塚にお参りして、毎日のよ るとリストラに遭わない」という話が信じ 塚に背を向けると崇りがあり、お参りす もあり、そうした人々の間では「将門の首 ビジネスマンたちの散策する憩いの地域で を記念して造成された和田倉噴水公園な 駅から皇居外苑や大手門、皇居東御苑、平 んもりと繁って整備された将門の首塚があ て、三井物産の池や、皇太子殿下のご成婚 川門、大手堀などを巡る内堀通りに加え 千代田区大手町一番地のこの辺りには、こ ど丸の内のビジネス街とは対象的な、静と 以来、日本の政治の中心部となっている

> 平将門 蓮阿弥陀仏

南無阿弥陀佛 徳治二

震など天災、人災の続いたあとの徳治二年 古襲来)や、死者二万人余を出した鎌倉地 かと驚くの外ありません。 永年に及んで生かされ親しまれていること であり、流石に将門伝説が絶えることなく から今日までに何度も復元されているよう おり、伝えられるところに依れば江戸時代 という年号(西暦一三〇七年)が彫刻されて 時代の初めごろの二度に及ぶ元冠の役(蒙 と、古い南北朝時代の終りごろから鎌倉

見直すことも意味あることでしょう。 産業文化に貢献した実績を顕彰し改めて 議事堂や、大理石王国を築いた矢橋 回にご紹介し、わが国が世界に誇れる国会 宿の出身である矢橋賢吉博士については次 そうした将門伝説ゆかりの中山道赤坂 族







